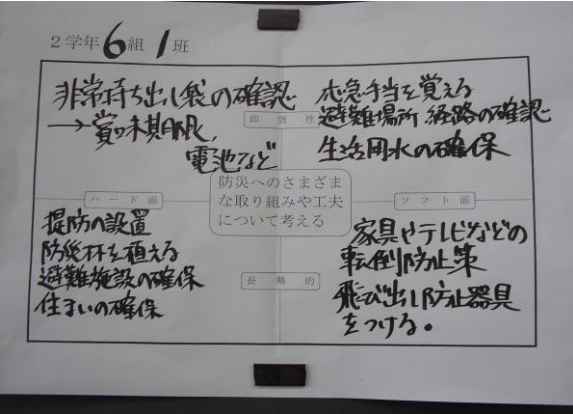





学校名 [仙台市立広瀬中学校] [中] 学校 単元名 [仙台市震災復興計画を知ろう] P20～21 教科・領域名 [社会・日本のさまざまな自然災害と防災] [時間 50 分]	氏名 [菅野 理]
---	--------------------

主な学習活動 (実際に行った活動)	指導の実際
【ねらい】 <ul style="list-style-type: none"> ・ さまざまな自然災害に対して，防災対策が必要であることを考え，意欲的に追究し取りませる。 ・ 自然災害の被害を最小限度にするためには，どのようなことをしたらよいかを考えさせる。 <p>1 自然災害の原因が，日本の自然環境の特色と関連していることを理解する。</p>	【場所】 教室 【準備物】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 帝国書院 社会科 中学生の地理 [日本のさまざまな自然災害と防災] p 140～p 141 ・ 資料集 ・ 新防災教育副読本「3. 11から未来へ」 p 20～p 21, p 42～p 43 <p>1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 環太平洋造山帯と関係する災害 地震，津波，建物倒壊，山崩れ 火山の噴火 ・ 雨や風による災害 冷害，台風，干ばつ

防災へのさまざまな取り組みや工夫について考える

<p>2 学習課題についてグループで話し合う。</p> <p>(1) 事前に家庭で話し合ってきた内容について整理する。 新防災教育副読本 p 42～p 43</p> <p>(2) 班内で発表し合う。 新防災教育副読本 p20～p21 p 42～p 43</p> <p>(3) 各自の意見を基に班内で話し合い，意見を練り上げる。</p> <p>(4) まとまった意見をワークシートに記入する。</p> <p>3 班ごとに発表する。</p> <p>4 全体で学習課題について確認する。 ・ 黒板に掲示された発表用紙を記録する。</p> <p>5 「教訓を未来に生かす」をテーマに，次世代へのメッセージを各自ワークシートに記入する。 ・ 新防災教育副読本 ～地球の一員として～ 「自助，共助，公助」について考えて課題に取り組む。</p>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p>① ハード面から考えられること。</p> <p>② ソフト面から考えられること。</p> <p>③ 自然災害を体験した私たちが考えられること。</p> </div> <p style="text-align: center;">◇生徒学習課題から◇</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">  </div> <p style="text-align: center;">◇発表の様子◇ ◇まとめの様子◇</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div>
---	--

2 学年 社会科 (地理) ワークシート

2 学年 組 番 氏名 _____

★日本の自然災害の原因について考えよう。

・
・
・
・
・
・

★ 防災へのさまざまな取り組みや工夫について考えよう。

【家庭で話し合った内容をまとめよう。】

◇ハード面◇
◇ソフト面◇

【班内の意見をまとめよう。】

◇ハード面◇
◇ソフト面◇

【全体の発表を基に参考となったことをまとめよう。】

★「教訓を未来に生かす」をテーマに、次世代へのメッセージを書いてみよう。

(別紙)

「新防災教育副読本を活用した指導事例」様式（提出用）

2 学年 組 班 番 氏 名

